



[週報]

Weekly Report

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

RI テーマ
人類に奉仕するロータリー

2016 - 2017 年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日 / 毎週月曜日 12:30~13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 漆島典和 幹事 / 坂本研一 クラブ広報委員長 / 井上雅文

www.kumamoto-southrc.org

第7回例会記録(通算第 2697 回)

平成 28(2016)年8月29日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「奉仕の理想」

来訪者紹介

前田眞実様 (RI 第 2720 地区 2016-17 ガバナー)

中野裕貴様 (RI 第 2720 地区 2016-17 地区幹事)

代表会長報告(漆島典和君)

2016-2017 年度 熊本南ロータリークラブ会長の漆島典和です。ロータリー歴 13 年、職域は神道です。どうぞ、お見知りおかれましてよろしくお願ひ申し上げます。

本日は、熊本西ロータリークラブ木村会長をはじめとします会員の皆さまと共に、ガバナー公式訪問合同例会を、国際ロータリー第 2720 地区 2016-2017 年度 前田眞実ガバナーご臨席のもと開催出来ましたことを、衷心より感謝申し上げます。

さて、平時であれば、いろいろなロータリークラブに対する思いを述べるところですが、なによりもまず、平成 28 年 4 月 14 日、16 日と二度にわたる熊本大地震によりお亡くなりになりました方々へ心よりご冥福をお祈りするものであります。また、現在も尚、避難生活を余儀なくされている皆様方の御心中をお察しするものであります。私も含めて、ロータリー会員の皆様も程度の差はありますが、被災者と言う現実があります。これから元の状態に戻るまで



8/29 RI 第 2720 地区 前田眞実ガバナー公式訪問合同例会@ホテル日航熊本

今日の例会

- 1.今日の歌
- 2.来訪者紹介
- 3.会長・幹事報告
- 4.会員卓話 大津英敬君

今月・来月の行事

- 9/17 R 財団・米山記念奨学部門合同セミナー@ホルトホール大分
- 9/17 米山奨学会世話クラブ・カウンセラー研修会@ホルトホール大分

場所によっては、10 年、20 年かかるところもあると言われております。

国際ロータリー2016-2017 年度のジョン・ジャーム会長は、「人類に奉仕するロータリー」と言うテーマを掲げてられております。また、前田眞実ガバナーは、「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」と言う地区スローガンを掲げていらっしゃいます。

この時期に、クラブ会長をさせていただくのも何かの巡り合わせだと思っております。一日も早い復興と、その一助になる様な活動が出来ればと考えております。

また、この様な時だからこそ、一人のロータリアンとして日々の生活や社会とのかかわりの中でその精神を生かしていかなければならないとも考えております。いずれにしましても、郷土熊本の復興に向け踏み出す年度としたいと切に望むところです。

最後になりますが、今日の例会が前田ガバナーをはじめ、熊本西クラブと熊本南クラブの親睦を計る有意義なものとなり、また、本日もご出席も皆さまの本年度の益々の御多幸を祈念申し上げ、結びとさせていただきます。

熊本西 RC 会長挨拶 (木村秀崇様)



例会変更のお知らせ

○りんどう RC～親睦会のため日程変更

[変更前] 9月8日(木) 13:00～

[変更後] 9月11日(日) 16:00～

○05福祉 RC～清掃活動のため時間場所変更

[変更前] 9月13日(火) 12:30～

[変更後] 9月13日(火) 6:30～

[場 所] 県総合運動公園

○平成 RC～G 公式訪問合同例会のため場所変更

[日 程] 9月14日(水) 12:30～

[場 所] ホテルキャッスル11F「トゥール ド シャトー」

○水前寺公園 RC～G 公式訪問合同例会のため場所変更

[日 程] 9月14日(水) 12:30～

[場 所] ホテルキャッスル11F「トゥール ド シャトー」

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 9月22日(木) 13:00～

○中央 RC～定款に基づき休会

[日 程] 9月23日(金) 12:30～

○平成 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 9月28日(水) 18:30～

[変更後] 9月28日(水) 19:00～

[場 所] 未定

○りんどう RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 9月29日(木) 13:00～

[変更後] 9月29日(木) 19:00～

[場 所] 未定

代表幹事報告 (坂本研一君)



1.地区事務所より「2016-17年度 地区社会・国際・職業奉仕合同セミナー開催のご案内」及び「懇親会開催のご案内」が届いております。

2.熊本中央 RC より「第8回 熊本中央ロータリークラブチャリティコンペのご案内」が届いております。

出席報告 (園田修司君)

会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
63名	37名	63.79%	78.95%
出席規定適用免除者 5名			欠席記録免除者 2名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

委員会報告

ございません

●スマイルボックス (告坂和紀君)



○前田眞実様・中野裕貴様

(RI 第2720地区ガバナー・地区幹事)

○漆島典和君・坂本研一君

本日は熊本西ロータリークラブ様との合同で、前田眞実ガバナー公式訪問を開催できましたことに感謝してスマイルさせていただきます。

※本日は「全員スマイル」をいただきました。ご協力ありがとうございました。

●前田眞実ガバナーアドレス (RI 第 2720 地区 ガバナー)



今年度、地区ガバナーを拝命しました大分キャピタル RC の前田です。職業分類は専門学校です。本日はガバナーアドレスとして例会の貴重な時間をいただき大変感謝しております。本日のアドレスの内容ですが次の4つのことを柱に進めてまいります。①国際協議会の報告、②今年度の地区方針、③規定審議会について、④その他、どうぞよろしくお願いたします。

①国際協議会の報告

国際協議会が2016年1月17日～22日(現地時間)の6日間、サンディエゴのグランドハイアットホテルにて開催されました。2日目の本会議にて、RI 会長エレクトのジョン・F・ジャーム氏より、次年度テーマの発表と講演がありました。テーマは「人類に奉仕する

ロータリー」という事で、とても分かりやすく日本の他地区のガバナーエレクトにも好評でした。講演内容の中で印象に残っているのは3つあり、第1に2017年はロータリー財団の記念すべき100周年を迎えるので、周年行事を含め、ロータリー財団の活動に取り組んで貰いたいということです。次に会員増強について言われました。ただ、従来の会員増強と違うのは、会員は増やさなくてはならないが、質を落としてはいけないということです。第3に公共イメージのUPを挙げていました。ロータリーの活動を多くの人に知ってもらうことがロータリーのイメージを上げ、そのことから増強に繋がる。それにはマスコミを含め、一般人から喜んでもらえる奉仕プロジェクトを実施することが大切だと語っていました。それから、研修とは別に、懇親会や晚餐舞踏会、祭りのカーニバル等、他国の人と触れ合う機会がありました。そこで、多様性について学ぶことが出来、お互いを尊重し合うことの大切さを学びました。このような機会を与えていただいたことに衷心より感謝を申し上げます。ロータリーの目的の実現、並びに、地区やクラブの発展に少しでも寄与できればと思います。ハードではありましたが、楽しい充実した国際協議会でした。

②今年度の地区方針

今年度の地区スローガンは「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」としました。ロータリーは2005年に100周年を迎え、それを機にロータリーのシステムが大きく変わり始めています。一例として、CLP(クラブリーダーシッププラン)の導入、4大奉仕から5大奉仕へ、職業人以外の入会、Eクラブや衛生クラブの誕生、未来の夢計画によるR財団のプログラムの変更等が挙げられます。そんな中で、私たちが取り組まなければならないことは、変化に対応していくことです。企業経営も同じで時代に順応出来なければ淘汰されてしまいます。ロータリーが時代に即した、変化を求めているならば私達もその変化を意識し、学び、順応しなければなりません。しかしながら、どのように変化しようとも守らなければならないこともあります。そして、未来へ向けて若い人たちを育てる使命が我々ロータリアンにはあります。今まさに不易流行を意識した組織運営が求められています。

③規定審議会について

3年に1度、開催される規定審議会では、クラブや地区、理事会などから提案された立法案の審議と投票が行われます。組織としてのロータリーの運営について、ロータリアンが意見を表明する場となります。4月に審議し可決された案件は今年の7月から有効です。今回の規定審議会では、より多くの裁量をクラブに委ねる立法案が採択されました。その中心となるのが定

款第7条です。この第7条は例会と出席に関する規定の例外となっており、その内容は次の通りです。「本定款の第8条第1節、第12条第1、2、3、4、5節、第15条第4節に従わない規定または要件を細則に含めることができる。そのような規定または要件は、本定款の上記の節の規定または要件に優先する。ただし、クラブは毎月少なくとも2回例会を開催しなければならない。」分かりやすく言うと第8条、12条、15条の中で該当する節はクラブで議論し、クラブの意向で決定して良いというものです。もちろん決定したことは細則に謳わなければなりません。今後は、すべて踏襲するのではなく、クラブの規模や文化(価値観)に見合ったクラブ運営が求められます。良く考え、皆で議論し、最も自分たちのクラブに適した運営方法を作り上げていくべきです。企業経営と同じで変化や進化の無いクラブはやがて淘汰されます。そして、最も大切なことは何のために入っているのか?ロータリーの目的を常に意識することです。

④その他

最後は皆さんにお願いしたいことがあります。1つは地区大会の件です。2017年の3月23・24日で行われますが、初日はR財団100周年記念チャリティーゴルフコンペを開催します。また、別会場にて指導者育成セミナーや新会員研修も実施します。2日目はジャパネットたかたの元社長の講演、晚餐&懇親会と充実したプログラムを用意しておりますのでご参加の程よろしくお願いたします。また、早いもので次年度の準備が始まっております。これから地区委員の募集等が始まると思いますが、ぜひクラブより地区委員を輩出してください。多くの人と知り合う機会があり、とてもためになると思います。皆さんでぜひ永田年度を盛り上げていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。以上をもちまして本日のガバナーアドレスを終了いたします。ご清聴ありがとうございました。

◆前田眞実ガバナーへバナーの贈呈



【例会予定】

- 9/12 外部卓話 (調整中)
- 9/19 祝日のため休会
- 9/26 会員卓話 林田公治君

【RAC・IACの例会日程について】

○熊本南ローターアクトクラブ例会(第1・3木曜日)

日時:9月15日(木)20:00～

場所:西部ガス

内容:大河会員担当例会(専門知識開発)

○熊本国府高校インターアクトクラブ例会(第1・3水曜日)

日時:9月7日(水)16:00～

場所:国府高校「大会議室」

内容:未定

日時:9月21日(水)16:00～

場所:国府高校「大会議室」

内容:未定

ただし、学校の都合上(他団体が施設を利用する場合や生徒の課外、職員の会議等)、急遽変更される場合もあります。

ご出席の場合は、メンバーに充当することが可能です。

◆RIニュース(国際ロータリーHPより)



皆さんはビールを飲むとき、主要な原料である「水」について考えたことはありますか？あるロータリアンのグループがこの水について考え、画期的な活動をはじめました。グループの名前は「Beers Rotarians Enjoy Worldwide (BREW)」(世界中でビールを楽しむロータリアンの親睦活動グループ)。英語で「醸造する」を意味する「BREW」と略されるこのグループは世界中でイベントを開き、ロータリーの重点分野である水と衛生のための資金調達活動を行っています。メンバーの一人であるスティーブン・ラックさん(米国カリフォルニア州プレザントヒル・ロータリークラブ)は次のように話します。「ビールを飲むことで、例えばアフリカの村にきれいな水を届けられます。ビール好きで、ビールを買ったお金で世界でよいことができるなら、まさに一石二鳥ではないでしょうか」BREWのようなロータリーの「親睦活動グループ」は、情熱を同じくするロータリアンが集まるグループである一方、同じような集まりに、「ロータリアン行動グループ」があります。行動グループの場合、ある特定の奉仕分野の知識や経験を持つロータリアンがメンバーとなっており、BREWはそこに目をつけました。きれいな水の提供を専門とする行動グループと協力すれば、

より大規模に活動を展開できるのではないかと思います。「ビールをつくるには水が必要ですから、切っても切り離せない関係」と話すのは、BREWの共同創設者でアクラ・ウェスト・ロータリークラブ(ガーナ)元会長のモーゼス・アイリーさんです。「ビールは世界中で愛されています。私たちの目標は、世界中できれいな水を提供することです」BREWのメンバーは、「水と衛生のロータリアン行動グループ」と協力して、支援する水プロジェクトを選び、これらのプロジェクトに親睦活動グループ会費の25%を寄付しています。メンバーはまた、資金面でのサポートを得るために、全大陸の大手ビール会社に働きかけています。この分野ではすでに、Water.orgという非営利団体が、ステラ・アルトワから120万ドルの助成金を受けています。ロータリーによるこのような水プロジェクトによって多くの人たちの生活が改善されます。世界では、不衛生な水が原因で毎日3,000人の子供が、また、水を介した病気で8,000人が命を落としていると言われています。さらに、世界の多くの地域では、女性が水汲みのためにかなりの時間を費やしていることも分かっています。この同じ時間を、水汲みではなく、家族の世話や仕事、社会貢献にあてることができるはずです。水と衛生のロータリアン行動グループ元委員長のF.ロナルド・デンハムさん(カナダ、トロント・エグリントン・ロータリークラブ)は、親睦グループとの協力に情熱を傾けています。デンハムさんは次のように話します。「当グループが水プロジェクトについて情報を提供する一方で、BREWはビール醸造元との関係を築きます。BREWのメンバーの中にはビール醸造会社の幹部もいますので、素晴らしい相乗効果があります」

ラックさんとアイリーさんが2014年にこの親睦活動グループを立ち上げるきっかけとなったのは、「楽しくビールを飲んで、親睦を深める」というアイデアでした。つまり、ビールを通じてロータリーをもっと面白くできるのではないかと考えたのです。それだけでなく、ビールという共通の楽しみのために集まった人が「世界でよいこと」を行うという目的の下に結束できるという魅力もありました。「『ロータリーを楽しく』というのが私たちのモットー」とラックさん。「集まってビールを飲むというのは、それだけで交流であり、みんなが平等に、一つになれることなんです」行動グループとの協力だけでなく、BREWはクラブによるビール・フェスティバルの開催も支援しています。この手のイベントは若い人にアピールできるだけでなく、クラブのプロジェクトの募金につながり、しかも、わりと簡単に計画できるのです。